

平成 29 年度 教育 研究 業績 書

氏名 光石亜由美

最終学歴	名古屋大学大学院人間情報学研究科・博士後期課程満期退了	
取得学位	博士（学術）	
所属学会	日本近代文学会、日本文学協会、日本比較文学会、韓国日本語文学会	
専門分野	日本近代文学	
研究課題	自然主義文学をはじめとする、文学におけるセクシュアリティ言説の形成	
授業科目	学部担当科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言語文学</li> <li>・国文学講読</li> <li>・演習Ⅰ</li> <li>・演習Ⅱ</li> <li>・現代文化論Ⅰ</li> <li>・近代文学概論Ⅰ</li> <li>・近代小説論</li> </ul>
	大学院修士課程担当科目 （博士前期課程含）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近代文学論演習Ⅰ・Ⅱ</li> <li>・研究演習（八）</li> </ul>
	大学院博士後期課程担当科目	
	通信教育部担当科目	
【研究上の特記事項】	<p>科学研究費補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基盤研究C 研究代表 研究課題：植民地朝鮮におけるセクシュアリティ言説研究</li> <li>・基盤研究B 研究協力者 研究課題：占領期ローカルメディアに関する資料調査および総合的考察（大原祐治・千葉大学）</li> </ul>	
【教育上の特記事項】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪府立柴島高等学校での模擬授業（6月29日）</li> <li>・グローバル東アジア文化コンテンツ教室（韓国：圓光大学）での講演（11月23日）</li> </ul>	
【社会的活動】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本近代文学会編集委員</li> <li>・講演「写真で迎える『奈良、いまは昔』 一郷土の文化人・北村信昭の世界―」（第35回平城ニュータウン文化祭、11月3日）</li> </ul>	
【学内活動】 （学内職歴を含む）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学科主任、国際交流委員、ハラスメント防止委員、奈良大学総合研究所員</li> <li>・文芸部顧問</li> </ul>	

研究業績〔著書、学術論文等〕				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書) なし				
(学術論文)				
① 愛は国境を越えるか？——辻仁成・孔枝泳『愛のあとにくるもの』における日韓合同小説の試み	単著	2018年3月	奈良大学紀要、45号	
(学会発表)				
① 梶山季之「李朝残影」の植民地認識——植民地的男性主体の構築または脱構築	単独	2017年8月19日	第五回中日韓言語文化比較研究国際シンポジウム（於：中国 延辺大学）	
② 戦争のトラウマと文学——もしくは、石塚喜久三とエロティックな戦争（自由パネル「戦争文学におけるジェンダー・セクシュアリティの問題系」）	単独	2017年10月27日	東アジアと同時代日本語文学フォーラム2017 ソウル大会（於：韓国 高麗大学、東国大学）	
③ 日本の大学の人文学・教養教育の現状——文学研究との関わりを中心に	単独	2017年11月24日	2017CKU教養教育学術フォーラム（於：韓国 カトリック関東大学）	
④ 「現代女性作家の小説にみる育児・労働・ジェンダー——角田光代『対岸の彼女』を中心に」	単独	2017年12月23日	東アジアにおけるジェンダー視点の女性研究シンポジウム（於：中国 大連外国語大学）	
(その他)				
① 「〈変態〉からみる近代日本精神史」（ランウドテーブル報告記）	単著	2017年4月	日本文学（日本文学協会）66巻4号、pp. 64-65	
② 『漱石辞典』（項目：「処女」「肉欲」「惚れる」「遊廓」）	単著	2017年5月	翰林書房	
③ （書評）杉岡歩美『中島敦と〈南洋〉 同時代〈南洋〉表象テキスト生成過程から』	単著	2017年5月	日本近代文学（日本近代文学界）、第96集、pp. 189-192	
④ （書評）黒岩裕一『ゲイの可視化を読む 現代文学に描かれる〈性の多様性〉？』	単著	2017年8月	日本文学（日本文学協会）66巻8号、pp. 80-81	